

## 令和6年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

|                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4 あきる野子育てステーション こころの &lt;令和6年11月2日（土）開催&gt;</b>                                                                                                                                 |
| <b>① あきる野市の強みについて</b>                                                                                                                                                              |
| <b>Q あきる野市の強みは何か。</b>                                                                                                                                                              |
| A 都心から遠くない距離で、東京都内に位置しながらも自然豊かであること、比較的安い金額で家を持ちやすいなど、総合的に定住を促進しやすい条件が整っていることが強みだと考えている。                                                                                           |
| <b>② 起債の残高について</b>                                                                                                                                                                 |
| <b>Q 起債を48億円減らしたとのことであるが、残高を教えてください。また、現在の基金の額で、大きな災害時に対応できるのか。</b>                                                                                                                |
| A 起債の残高については、現在468億円となっている。基金は21億円ある。潤沢だとは言えないが、一定の額は確保できている状況である。災害発生時に対応できるかと問われると、災害の程度もあり、明確な回答は難しい。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の際は、国からの補助金を受ける前に、市の一般財源で立て替える必要があったが、資金繰りに困ることはなかった。 |
| <b>③ 里帰り出産について</b>                                                                                                                                                                 |
| <b>Q 里帰り出産について、2人目の出産時に1人目が保育園を休める期間は2か月まででそれ以上休む場合は、退園しないといけないとのことだった。このような心配ごとをなくしてほしい。</b>                                                                                      |
| A 安心して里帰り出産ができるようにすることが大事だと考えている。ご意見を踏まえ、しっかり対応していきたい。                                                                                                                             |
| <b>④ 子どもの教育環境について</b>                                                                                                                                                              |
| <b>Q 教育環境があまり整っていないので、子どものためにお金を使えていないのではないかと。子どもの大事な期間に何もできないのはもったいない。学習支援、居場所づくりという形で取り組んでいる自治体もある。</b>                                                                          |
| A 市内には塾やピアノ教室等もあるが、都会と比べると件数は少ないと思う。この点については、需要と供給の関係もあるので、難しい問題である。<br>その一方で、色々な体験ができる点が本市の特色だと思う。体験事業を実施する事業所も出てきているので、市としては、このようなところから力を入れていきたい。                                |
| <b>⑤ SNSを活用した情報発信について</b>                                                                                                                                                          |
| <b>Q おさんぽ会などの取組を、SNSで発信して、市のプログラムに参加できる機会を周知してほしい。情報発信が少ないと感じる。</b>                                                                                                                |
| A 情報発信は行政の苦手とするところなので、研究していきたい。                                                                                                                                                    |
| <b>⑥ 公共施設の改修について</b>                                                                                                                                                               |
| <b>Q 老朽化が進んでいる施設があるので、改修を進めてほしい。</b>                                                                                                                                               |
| A すべてを改修するのは難しい。統合して新しい施設にすることも考えている。                                                                                                                                              |
| <b>Q 五日市中学校の校舎について、改修は行っていないのか。</b>                                                                                                                                                |
| A 新たに建て替えることはできないが、耐震工事などできるところからやっている。                                                                                                                                            |

## 令和6年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

|                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑦ 扶養控除について                                                                                                                                 |
| <p>Q 年少扶養控除がない中、高校生の扶養控除が減ることになった。他の自治体にはない魅力的な施策があると子どもが大人になったときも安心できると思う。</p>                                                            |
| <p>A 扶養控除の件については、市長会などを通じて国に要望していきたい。</p>                                                                                                  |
| ⑧ 居住環境について                                                                                                                                 |
| <p>Q 持ち家はコスパが悪いので、マンションを建てた方が人は集まるのではないか。モデルとしている自治体はあるのか。</p>                                                                             |
| <p>A 集合住宅に移住したい方の意向も受け止めていきたい。モデルとしている自治体については、良いと思う取組であっても場所や条件が本市と異なる場合があり、一概には言えないが、岡山県の和気町の取組を参考とすることが多い。</p>                          |
| ⑨ 子どもの見守りについて                                                                                                                              |
| <p>Q 増戸地区では子どもの見守りが行われている。五日市地区でも実施してほしい。</p>                                                                                              |
| <p>A 増戸地区は青少健やPTA、自治会など、見守りボランティアの人数が多い。このことが、見守りボランティアが活発である要因であると捉えている。</p>                                                              |
| ⑩ 通学路について                                                                                                                                  |
| <p>Q 通学路となっている都道にガードレールのない箇所があるので、設置してほしい。</p>                                                                                             |
| <p>A 通学路となっている都道については、ガードレールの設置について、要望しているところである。</p> <p>具体的な場所を教えてもらえれば、危険度を確認して対応する。このような場合は、担当部署へ伝えるようにしてほしい。るのパトなどでも通報してもらうことはできる。</p> |
| ⑪ 乳幼児健診について                                                                                                                                |
| <p>Q 市の乳幼児健診において、一般的な助言に留まらず、保健師の専門的な視点から、より踏み込んだ助言をいただけると、とてもありがたい。</p>                                                                   |
| <p>A ご指摘いただいた内容について、対応を考えていきたい。</p>                                                                                                        |
| ⑫ 授業日数について                                                                                                                                 |
| <p>Q 五日市小学校について、授業日数が少ないと聞いた。</p>                                                                                                          |
| <p>A 授業時間については、日本全国で1050時間と決められている。コロナ禍においては、全く足りていなかった。現在はどの学校においても標準時数前後で授業を実施しているので、五日市小学校が特に少ないということはないと思う。</p>                        |
| ⑬ 子育て世帯向けの施設やイベントについて                                                                                                                      |
| <p>Q 檜原村のおもちゃ美術館のような、子どもと一緒に楽しめる施設がほしい。夏場は暑いので、室内で遊べる施設があると良いと思う。</p>                                                                      |
| <p>A 意見として承る。そのような視点を入れることも大切だと考えている。</p>                                                                                                  |
| <p>Q 今ある施設を活用してイベントを実施することはできるのではないか。市の良さを生かせば、保護者同士のネットワークももっと広がっていくと思う。</p>                                                              |
| <p>A 参考として、意見を承る。</p>                                                                                                                      |